

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	宅幼老所機能強化事業
事業主体 (連絡先)	大桑村 産業振興課 (0264-55-3080)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,237,500円(うち支援金:928,000円)

事業内容

宅幼老所あがらんしょの建物を増築することにより、十分なスペースを得られ、ハッスル体操時に隣の人との接触やけがの恐れを気にすることなく体操を行うことができ、利用者の介護予防につながる。また、世代間交流の活動【小さなお話会】など、充実した事業を行うことができる。

○既存建物の増築工事

- ・時期：令和元年10月～令和2年2月
- ・場所：大桑村大字野尻(野尻駅北側)
- ・規模：増築面積8.28㎡(既存面積20.70㎡)



【体操の様子】

【目標・ねらい】

- ① 高齢者の介護予防
- ② ハッスル体操利用者の増加
- ③ 世代間交流の推進

事業効果

- ① 増築したことにより、スペースに余裕が生まれ、ハッスル体操時に隣の人との接触を気にすることなく体操をできるようになった。
- ② 工事前のハッスル体操利用者は延べ人数37名であったが、月1回程度の参加者を含めると延べ人数42名になっている。このため令和2年度より週1回だった回数を2回に増やす予定である。
- ③ 介護予防だけでなく、世代間交流の活動【小さなお話会】を隔週で開催しており、参加者から好評を得ている。増築により施設の使い勝手が良くなり充実した事業を行っている。

※自己評価【 A 】

【理由】

・延べ人数37名であったハッスル体操利用者が延べ人数42名となり、週1回であった回数を2回に増やすことができ、高齢者の介護予防につながる。

今後の取り組み

令和2年度よりハッスル体操を増やすことができ、さらに高齢者の介護予防につなげることができる。また、世代間交流についても継続し、そのほか住民のニーズに応じた福祉サービスを行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある